

# ISO/IEC/JIS Plastics

事務局便り 2012年7月

## 平成23年度電気材料安全・規格委員会活動報告

### 1. 電子情報技術産業協会（JEITA）との連携

電気材料安全連絡会を2回開催し、電安法技術基準改正等の情報およびUL等材料規格の情報について幅広い情報交換と意見交換を実施した。プラ工連より高分子材料評価方法関連のUL規格の改定状況や、IEC/TC89 JWG 関連情報紹介等の説明を行った。JEITAより事故事例等を受けた電気用品安全法の政省令改正の関連技術への横展開について電安法技術基準等体系見直しの審議状況等の説明があった。

### 2. 電気用品部品・材料認証協議会（CMJ）登録制度への対応

CMJ運営企画委員会および材料部会に委員を派遣し、電安法技術基準省令第1項改正に伴うCMJ材料登録項目への「耐トラッキング性」追加検討の審議に参加した。当面のCMJ化は見送る事となり、将来の業界要求に備えたCMJ化の問題点の抽出、確認がなされた。

### 3. 電気安全および使用材料に係る規格への対応

#### (1) IEC/TC89（耐火性試験）

##### ① IEC/WD 60695-1-13（火災安全評価のクラス分け方法）PT 60695-1-13

5月のバルセロナ会議では、TC89議長よりガイダンス文書案が提案され、PTはこの案をベースにガイダンス文書を作成する事に合意した。10月のメルボルン会議では、TC89議長から本ガイダンス文書の作成の遅れがSMBより指摘されている点を伝え、協議の結果PTの下部に3つのタスクグループ（Fire Ignition, Spread of flame, Heat release）を設立し、各TGが別途作成したドラフトをPTで審議した。

##### ② IEC 60695-2-10（グローワイヤ試験装置）

バルセロナ会議においてCDコメント審議を行った。CDコメントで合意された主な変更点は、「アニール時間を少なくとも120Aで10時間以上」「グローワイヤ温度の許容差を現行の±15℃から±10℃へ厳格化」である。

##### ③ IEC 60695-2-11（グローワイヤ製品試験）

バルセロナ会議においてCDコメント審議を行った。CDコメントで合意された主な点は、クラスの統合及びクラス分けの変更である。

##### ④ IEC 60695-10-2（ボールプレッシャ試験）

バルセロナ会議ではCDコメントの審議を行なった。国内ラウンドロビンテストでは凹み深さで測定する方法と凹み径を断面図で示す方法等を実施した。尚、凹み径を断面図で示す方法は、凹み開始点の広がり（輪郭）の課題を見直す為、凹み径を断面図で示さず天面からの観察図（写真）で示すことになった。

##### ⑤ IEC 60695-11-20（500W火炎による燃焼性試験）

メルボルン会議では、日本からラウンドロビン試験の報告が行なわれ、Fixing Method 2が試験所間の再現性が得られる事を確認したが、試験判定が厳しくなり影響が大きいとの意見が多かった。そ

ここで新たな接炎法としての Chasing Method2 を完成させることが課題となった。

⑥ 旧 IEC 60695-2-20 (ホットワイヤ試験)

プロジェクトチーム (UL、DSM 他) を中心に、HWI 試験の再規格化に向けて取り組み実施中。メルボルン会議では、RRT 結果からこの試験自体が信頼性に乏しいとの意見があった。次回の 4thCD にてバラツキ低減が確認できれば CDV へ進むことになった。

(2) IEC/TC108 (オーディオ・ビデオ、情報機器、通信技術分野における電子機器の安全性)

IEC60065 第 8 版、IEC62368-1 には上層委員会 SMB の決定により、ろうそくもらい火規格 (技術仕様書) TS62441 が TV セットに限定して盛り込まれる。

(3) IEC/TC112 (電気絶縁材料及びシステムの評価と認定)

耐トラッキング試験に関する IEC60112 の審議が行なわれ、電極の定義などについて見直しを開始する事になった。また、傾斜面耐トラッキング試験に関する IEC60587 では、近年の直流給電の普及に伴い、試験環境を従来の交流から直流に変えて、試験法の妥当性を検証するラウンドロビン試験が進行中である。ラウンドロビン試験用材料はポリマー碍子用材料が選定された。

(4) UL 関係

UL STP (規格技術パネル)

4 月に UL94、746、1692 に関する STP が開催され、UL 規格の改定提案が多数行われた。UL94 は VTM 試験、Supplement SB の改定等、UL746A は複数の成分を変更する場合の Polymer Variation の提案、絶縁破壊電圧を測定時の昇圧速度の改定等、UL746B は UL746B Table.7.1 の改定提案、Secondary Property としての燃焼性の要求の明確化等、746D はリサイクルプラスチックへの要求、リグラインド材の含有量が 25% を超える材料の新しい認定プログラム等であった。

以上